



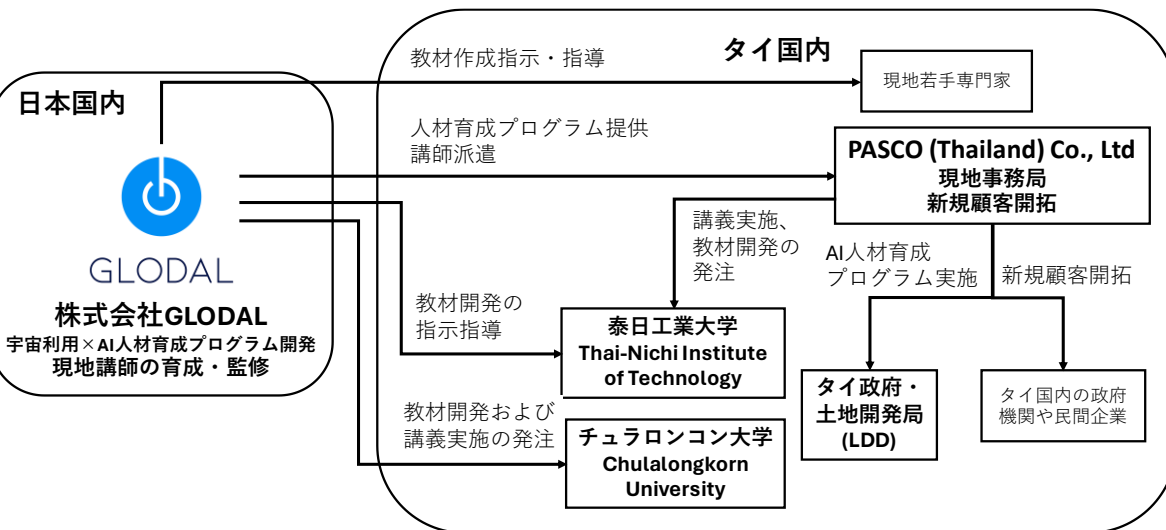
株式会社GLODAL

タイのデジタル産業裾野拡大を目的とした宇宙利用×AI人材育成サービス事業構築

本事業の目的

タイ国内ではAIと宇宙技術に対して成長の期待が高まりつつあるうちに日本との官民連携による二国間協力が推進される中、当該領域に関する教育機会が限られており人材育成が喫緊の課題となっている。本事業では、宇宙利用×AI利活用を顧客の業務にカスタマイズすることで学習コストを最小化する人材育成プログラムを提供する事業の構築を目的とした実証をおこなった。

現地企業や政府との協力・連携



現地の経済・社会課題

タイ政府の長期経済開発計画「Thailand 4.0」ではAI（人工知能）を含むデジタル産業が重点的育成産業に含まれているが、AI技術を学ぶ機会が高等教育に限られており、裾野拡大の制約となっている。また、Thailand 4.0においても重点分野とされる宇宙産業においては、農業、建設、都市交通、防災・減災等の分野で利活用が推進されており、タイ国内では成長への期待は高い。

2015年3月の日タイ首脳による地理空間情報を活用した高度情報社会の発展を同意する共同声明を皮切りに、宇宙利用に関する官民連携の二国間協力が密になされてきた。近年の我が国における宇宙産業の隆盛を鑑みるに、タイの宇宙産業発展は我が国との協調的な成長が見込まれる。

日タイ両国ともに人工衛星で得られるデータから社会的便益やビジネスに活かすサービス層の開発に成長の余地が多くあり、特にAIによる画像認識との親和性が高いが、業務利活用を推進できる人材の不足している。前述したAI技術の学習機会が限られていることと相まって、宇宙利用とAIという先端技術の重ね合わせを身に付けて業務に活かすという、きわめて挑戦的な課題に直面している。

株式会社GLODAL



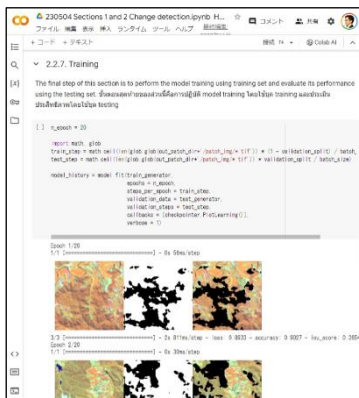
タイのデジタル産業裾野拡大を目的とした宇宙利用×AI人材育成サービス事業構築

実証期間

2022年9月～2024年1月

実証した内容

人材育成プログラムの実証：様々な業務に有用な共通基礎プログラムと顧客の業務に特化したカスタムプログラムを開発した。本実証を実施したタイ政府・土地開発局においては事前のヒアリングにより土地利用データ更新で衛星データ×AIによる業務革新を見込み、その方法に関する講義・演習、アイデアソンワークショップを構成・実施した。新規顧客開拓に向けた調査や営業活動：また、本事業の成果をタイ国内で展開するために公的機関における衛星データの業務利用を調査したほか、タイ国内の展示会やセミナーにて本事業の成果を周知した。



講義・演習およびアイデアソンワークショップの様子

解説文付きコード教材

事業の成果/今後の予定

本事業ではA) 人材育成プログラムのパッケージ開発と実証、B) 人材育成プログラムのサービス提供体制、C)タイ国内の潜在的顧客の一覧を成果とし、以下を今後の課題として挙げる。

- ①業務課題に沿ったプログラムの設計やアイデアソンワークショップのファシリテーターには、現地語による受講生との対話が一層に効果的に理解を促すことができるため、現地の事情に精通した現地専門家との協働が望ましい。それらの業務を分担できる現地専門家の育成が事業拡張のうえで重要な課題となりうる。
- ②本事業では新規市場開拓を目的とした潜在的顧客について調査・資料収集を実施したが、公的機関が抱える課題に対して、本事業による実証の結果をふまえて十分に精査・分析する必要がある。また、要求される人材育成プログラムの共通要件を明らかにすることで、開発工程を簡易化することが求められる。
- ③本実証では現地講師をはじめとしてタイ国内における取引が多く生じた。また、顧客は現地公的機関や現地法人が見込まれるため、タイ国内で取引できる自立的な法人による事業展開が好ましい。近年の不安定な通貨為替を鑑みると、現地法人による展開は持続的な事業に欠かせないと思われる。